



Science Winds

サイエンス・ウインズ

関西学院大学理工学部同窓会コミュニケーション・レター

NO. 10
Nov. 2014

ご挨拶

関西学院大学理工学部同窓会会長 高井 明德

関西学院は本年9月28日創立125周年を迎えました。心よりお祝い申し上げ、さらなるご発展をお祈りいたします。

理工学部同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、理工学部では創設50周年を経て新たな飛躍が始まります。

次年度に3つの新学科(9学科700名体制)

が誕生します。新しい理工学部は、2学科100名時代から見ると想像も出来ない変化ですが、同窓としても、理工学部時代の良さを継承しつつ、学生教育はもとより新しい時代の社会に貢献する研究成果が期待され、楽しみとるところです。

最近のニュースとして、尾崎幸洋先生の日本分光学会の会長就任やThe Coblenz SocietyのBomem-Michelson Award受賞、先生方の各種学術賞の受賞などがあり(理工学部ホームページ掲載)、理工学部の活発な教育研究活動の様子がうかがえます。

社会では多くの同窓が活躍していますが、そのような足跡が後輩にも継承されるよう、理工学部と連携して可能な限り教育支援をさせていただきたいと思っています。その新たな展開として、昨年本紙面で紹介しました理工学部の学生活動団体Mainsと連携し、イベントなどを通じ在学中から同窓会への意識を高め、卒業後の同窓会活動への積極的な参加につなげたいと思っています。

東京支部同窓会では本年第3回目の同窓会を開催し、多数の同窓が集い、今後ますます発展が期待されます。

理工学部の新たな発展とともに、同窓会の方も新たな一歩を踏み出しつつありますが、加藤知学部長、西藤雅之課長をはじめ、理工学部の教職員の皆様には積極的な協力をいただき感謝申し上げます。

本年の総会は、11月22日(土)に西宮上ヶ原キャンパスで開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

当日はホームカミングデーです。時間が許せば一日上ヶ原でお楽しみください。



2014年関西学院カレンダー

新生理工学部

関西学院大学理工学部長 加藤 知

神戸三田キャンパスに響く新しい建築の槌音を聞き、階を重ねていく建物を見上げていると、来年度の新学科開設が実感できるようになってきました。「新しい葡萄酒は、新しい革袋に入れよ」という聖書の言葉が思い出されます。逆に、新しい革袋には、新しい葡萄酒が必要です。新しいだけでなく深い味わいや気品があって、関学らしいと言われる中身が求められていることを強く感じます。先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科の3つの新学科の届出は、6月に文科省に正式に受理されました。これらの新学科は、現代社会の大きな課題であるグリーン・イノベーションとライフ・イノベーションに取り組み、その解決に向けて関学らしい一石を投げようという準備を進めております(詳しい内容は、<http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/new2015/>をご覧ください)。

新学科の開設によって、理工学部は入学定員700名、専任教員120名以上を擁する9学科体制となります。いくつかの研究室には任期制助教が加わり、研究室を二人で運営することになります。また、既存学科から複数の教員が新学科に移籍しますので、物理、化学、生命科学科もリニューアルされます。物理学科では、天文観測グループを導入する予定です。このように、規模拡大にともなって理工学部全体が大きく変貌していきませんが、基礎に軸足を置いて先端的教育と研究を実践していく伝統は堅持していきたいと考えています。2013年度には文科省の新事業である革新的イノベーション創出プログラムに採択されるなど、理工学部の研究は外部からも高く評価されていますが、今後益々質の高い研究が進展していくものと期待しております。学生の多様性も増していくと思いますが、原点を見つめつつひとりひとりを大切に教育に努めていく所存ですので、同窓の皆様のご支援よろしくお願い致します。

Contents

- P1 会長挨拶 高井 明德
新生理工学部 理工学部長 加藤 知
- P2 退職、いま青春! 福井 稔
相続税を知る 岡 庄吾
- P3 2013年理工学部同窓会総会
第3回東京支部同窓会、
同窓からの便り
- P4 総会案内、同窓会賞、同窓会奨学金、等

退職、いま青春！

福井 稔
(1966年物理学科卒業)

私は、関学高等部を卒業し、理学部（現在の理工学部）の一期生として、推薦で入学した。算数の計算が少し出来ること、父が理系への進学を勧めたことなどから選んだ。これからの理学部の基礎を築くという熱気が、教授たちの授業や、いろんな場面で伝わってきたし、また、教養課程では、文科系の日本でも最高水準の授業があり、非常に興味深かった。一期生約100名、4年で卒業できたのは、そのうちの6割弱と聞いている。



5年間かかって卒業したが、このまま社会に出るのは自信がないと、父に相談し、歯車講座のある静大工学部（浜松市）の入学を勧められた。入学するには、理学部と工学部では取得する学科が相違するので、1年間研修生として、工学部の授業を受けた。大学院の試験に合格後、2年間の修士課程を修了した。父は、戦前に結核を患い闘病生活後、私が大学院に入学した年に亡くなった（66歳）。これから父と歯車の話が出来ると、楽しみにしていた矢先で残念であった。

就職は、歯車加工工具のメーカー（株）園池製作所（小田原市）に、3年間。その後、大阪に帰って「植田歯車株式会社」に就職。13年間勤務し、会社倒産を機に、エレベーター専門メーカー「フジテック（株）」で18年間勤務した。どの会社でも歯車の設計、生産技術と、主に、モノづくりに関与した。フジテックでの定年前5～6年は、ISO品質・環境システムの構築に従事した。

退職後に、誘われて出席した憲法九条に関する講演会で、「目からうろこが落ちる」思いを体験した。これまで世の中の仕組みや出来事に何の関心も持たず、私自身が無知で、「本当のことが知らされていない」ことを知った。差別があり、不平等があり、権力者によって「いのち」が軽んじられていること、そして、福島原発事故も、原発再稼働も、沖縄の基地建設も、秘密保護法も、集団的自衛権も、それぞれが通底していることが理解できた。今は、所謂“市民運動”に力を注ぎ、多忙な日々を過ごしている。72歳になったが、元気な間に、「違うことは違う」と声をあげ、訴え続け、子どもたちや孫たちに住みよい社会が残せるよう日々過ごしたい。

相続税を知る

岡 庄吾
(1988年化学科卒業)

卒業して20年余り、現在は学生時代とは全く違う「会計・税務」という世界で生きております。

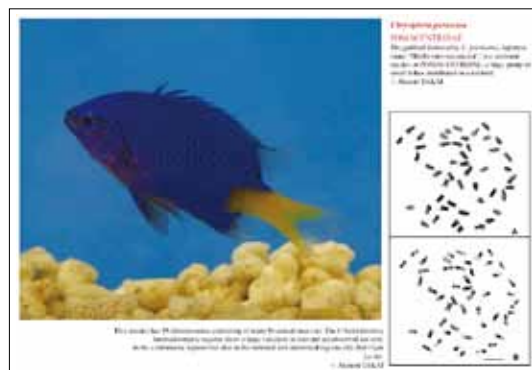
この度、同窓会総会で講演せよとの榮譽をいただきましたので、来年の増税を控えて、巷で取り上げられる機会も増えております相続税についても、お話しさせていただく予定をしております。

来年の相続税改正のうち、富裕層以外のいわゆる一般の方にも影響が大きいと考えられているのが基礎控除額の引下げです。

これまでの相続税は、一部のお金持ちだけが気にする税金でしたが、基礎控除額の引下げにより、これからは、たとえば、ちょっと立派な大きめの自宅をお持ちの方にとっては、他人事ではなく、それなりの相続税を納めなければならない可能性が十分に出てきました。

そこで、少しでも余計な税金を納めなくても済むように、まずは相続税の基本を知ることから始めてみてはいかがでしょうか？ということで、講演では、身近な題材を中心に相続税を知っていただくきっかけとなるようなお話をさせていただきます。

公認会計士・ITコーディネータ、有限会社アイブレイン・岡会計事務所代表、1991年10月太田昭和監査法人（現新日本有限責任監査法人）入所、2001年1月岡庄吾公認会計士事務所開設、同年10月有限会社アイブレイン設立 代表取締役就任、2008年7月監査法人だいち 代表社員就任、2007年4月大阪経済大学非常勤講師。著書（共著）：実務に役立つ 社会福祉法人の会計基準Q&A（清文社）、医療法人の事業承継Q&A（実務出版）等。



2015年染色体カレンダー シリキルリスズメダイ(4月)
撮影：高井明德(1979年化学科卒)(染色体学会発行)

会費納入のお願い

会費未納の方は、終身会費(20,000円)又は
年会費(2,000円)の納入を是非お願いいたします。
郵便振替で、右記口座にご送金ください。

口座名「関西学院大学理工学部同窓会」
口座番号「01160-5-24605」

2013年度理工学部同窓会総会開催

昨年（2013年）11月16日（土）午後1時30分より関西学院大学神戸三田キャンパス理工学部において、2013年度の総会・講演会・懇親会が開催されました。総会では理工学部の現況を加藤知理工学部長にお話しいただき、同窓会奨学金授与式を行いました。講演会は学生の就職に参考になるような企画をしました。

小林 聡氏による「よく生きるー人生の基本は営業マインドー」（1976年物理学科卒業、株式会社日本総研情報サービス 常勤監査役）、山下尚紀氏による「教職の道を歩んで」（1985年化学科卒業、大阪府立芦間高等学校 教頭）、いずれの講演も具体的な実例を多数交え、企業に就職し働く、教職に就くことについて大変興味深い内容で、出席の学生も大いに参考になったと思います。懇親会で奨学金授与式からこんな面白い話ならもっと友人に声をかけたら良かったという話も出ました。

その後、理工学部新学科紹介が、岡村隆教授をはじめ関係の先生方からなされました。

懇親会は第2厚生棟で行われ、楽しいひと時を過ごすことができました。年度末に退職される瀬川新一先生、川中宣明先生へ記念のペナント贈呈式も行いました。

第3回東京支部同窓会開催

一昨年、昨年に続き、第3回理工学部東京支部同窓会が2014年5月23日（金）午後6時30分より関西学院大学東京丸の内キャンパスで、約30人の参加を得て開催されました。中山（加藤）由美子さん（1978年化学卒、幹事代表）を中心に周到な準備をしていただき、楽しい会に時間のたつのを忘れました。関西から出席された来賓の理工学部副学部長 北村泰彦教授のご挨拶と理工学部の現況のお話、理工学部同窓会の朝井副会長のお話と乾杯の発声に引き続き、しばし歓談。久しぶりに会った懐かしい先輩、後輩、友人との思い出話に花が咲きました。後半には、松本克己さん（1977年化学卒、日本フィルハーモニー第一ヴァイオリン奏者）の参加者の輪の中に入り込んでのうっとりするような演奏、幹事さんの旧理工学部に関するクイズなど、あっという間の2時間でした。

東京支部の同窓会は、メールで連絡のつく関東地方在住の方を中心にのご案内を差し上げています。開催の連絡が届いていない方がありましたら、理工学部同窓会事務局までご連絡ください。次回からご案内が届くようにします。ホームページでも案内いたします。



同窓からの便り

米国での学園生活

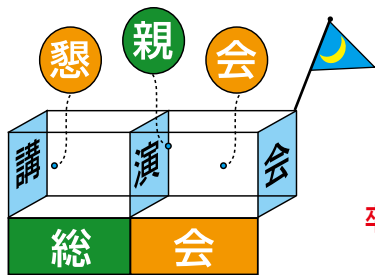
宮前 あゆか
(2014年生命科学科卒)



私は2014年3月に関西学院大学理工学部を卒業後、同年8月からアメリカの南イリノイ大学大学院に進学し、Molecular, cellular, systemic physiology を専攻しています。海外大学院留学への憧れは大学に入学する以前から抱いていたのですが、ようやくその願いが叶った今もこうして海外生活しているのは夢のようです。私は過去にアメリカ在住経験があり、ある程度はアメリカの文化や言語に馴染みがあったものの、再訪して新たな発見がいくつもあります。中でも日々身にしみて感じるのは、「当たり前」に存在する Diversity (多様性) についてです。

皆さんは、アメリカ生活における Diversity という、どんな事を想像されるでしょうか？ 人種や文化の異なる世界各国から集まった人々が共に生活している状況を想像される方が多いのではないのでしょうか。私はまさにそういった環境の中で学業に励みつつ交友関係を広めようとしています。まだ渡米から数ヶ月しか経っていませんが、私が感じた Diversity のいくつかをご紹介します。

日本では日本語を流暢に話す外国人は珍しがられて注目を浴びることが多々あります。私を含め多くの日本人が外国人に対してそのような印象を抱くのは、人種や文化の違う人との交流が少ないからではないでしょうか。Diversity が浸透しているアメリカで学園生活を送っていると、大学院の授業や研究室では海外からの留学生だからといって特別な配慮を受けない、英語を話す外国人（日本人）だからと言って驚かれることもありません。つまり、現地の人々と同様に物事を果たさなければいけない訳です。そのためには努力と忍耐力が必要ですが、一方で、自分の力を試して実りある生活を送ることができます。外国人だからという妙な差別もなく、自分の個性や能力を評価・尊重されることで、短期間で新しいコミュニティに馴染む事ができます。私はこういった Diversity を受け入れる環境に魅力を感じています。他に気が付いた Diversity として、在学する学生の幅広い年齢層とバックグラウンドが挙げられます。子持ちの母親が授業を受けていることもあれば、飛び級をして入学した若い学生もいます。日本ではこういった学生との交流を経験しておらず、視点の異なる意見や興味深いバックグラウンドを聞く事ができて、とても新鮮な刺激を受けています。このように私にとって想像できなかった Diversity が私の学園生活を豊かなものにしてきています。これからも「当たり前」に存在する Diversity を楽しみつつ、私自身の個性を磨き、より一層成長していきたいと思っています。



関西学院大学理工学部同窓会のご案内

— 上ヶ原キャンパスで開催 —

卒業10年(2004年卒)、20年(1994年卒)、30年(1984年卒)、40年(1974年卒)記念同窓会併催

日時：11月22日(土) 午後1時30分

●場所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス
中高礼拝堂(西宮市上ヶ原)

最寄駅：阪急宝塚線「甲東園」下車、徒歩またはバス

●プログラム

- 13:00 受付開始
- 13:30 理工学部同窓会総会
理工学部の現況 加藤知理工学部長
同窓会奨学金授与式
- 14:20 講演会
- 16:10 懇親会
- 18:00 閉会

●講演会

- 「退職、いま青春！」
福井 稔氏 (1966年物理学科卒業)
- 「会計士としての歩みと最近の話題」
岡 庄吾氏 (1988年化学科卒業)
- *P2にお二人の講演関連記事を掲載しています。

●会費：3,000円

*終身会費未納の方は、年会費2,000円又は終身会費(2万円)の納入をお願いいたします。

●出欠席の連絡(出席の申し込み)

*総会・懇親会に出席の方は、E-mailで下記アドレスにご連絡ください。氏名、学科、卒業年、その他(勤務先、近況など)を必ずお書きください。欠席の場合でも近況などお報せいただければ幸いです。

出欠席連絡先 E-mail: sokai@kgus-alumni.org
(11月22日(土)はホームカミングデーです)

同窓会の御案内

同窓会長 高井 明德

今年度の同窓会は西宮上ヶ原キャンパスで開催いたします。講演は、上ヶ原時代の思い出を交えつつ、卒業後のご活躍を語っていただきます。

今年度末には、小谷眞一、岸野文郎、西関隆夫の各先生がご退職になられます。懇親会ではお世話になった先生方と同窓の皆様がともに語り合い、楽しい懇親の場にしたいと思っておりますので、お誘いあわせの上で出席くださいますよう、御案内申し上げます。

訃報

下記の先生がご逝去なされました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

- 平成26年2月16日 桑名誉先生(名誉教授)
- 平成26年7月29日 鈴木啓介先生(名誉教授)

2013年度 同窓会賞受賞

- 数理学科 生田 成美
- 人間システム工学科 清水 琢也

2014年度 同窓会奨学金授与者

- 数理科学科 田坂 邦広
- 物理学科 樋口 雅之
- 化学科 山川 千尋
- 生命科学科生命科学専攻 曾田 智花
- 生命科学科生命医化学専攻 大西 裕子
- 情報科学科 山崎 勇気
- 人間システム工学科 横山 晃

Design the future by a new tool, "Plasma"!!

新しい製造ツール「プラズマ」は、様々な産業でエッチング、膜堆積、表面改質等に活用されています。

ニッシンはプラズマとエレクトロニクスの専門メーカー

【製造品目】・プラズマ用マイクロ波電源、周辺機器
・プラズマの計測、モニター機器
・プラズマ応用各種インライン製造装置
・高周波技術応用機器
・マイクロコンピュータ応用機器

株式会社ニッシン

会長 竹内 修(物理学科第1期卒)
URL <http://nissin-inc.co.jp/>

有機化合物の受託研究・受託製造・分離精製・研究開発支援

有機合成化学、バイオ技術を駆使して、お客様のご要望に柔軟に、スピーディーにお応えします。

- > 機能性有機材料(半導体・太陽電池など)、各種化成品の合成
- > 原薬、医薬中間体、治験用原薬の生産
- > ドラッグデザイン、リード創出、最適化研究などの創薬支援
- > 遺伝子組み換え体(微生物、細胞)による有用物質生産
- > 微生物によるバイオコンバージョン
- > 代謝産物や天然物からの有効成分の抽出・分離精製

神戸天然物化学株式会社
KNC Laboratories Co., Ltd.

本社営業部 TEL(078)224-5106 FAX(078)990-3215
〒651-2241 兵庫県神戸市西区室谷1-1-1

東京営業所 TEL(03)3251-1861 FAX(03)3251-1862
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町6 大矢ビル5F

ご寄附の御礼

下記の皆様には、ご寄付いただき感謝申し上げます。

会長 高井明德

医療法人共創会(田辺秀弘)、杉本吉規、木村皓俊、小林忠雄、鳥井親一、矢和多忠一、二木文文、内海浩之、阪上潔、榊原良平、森井幸生、米田清俊、北原周(敬称略、順不同)

サイエンス・ウインズ No.10 (2014) 発行 関西学院大学理工学部同窓会 2014年11月1日
SCIENCE WINDS: Communication Letter from the Alumni Association of the School of Science and Technology of KGU

URL <http://www.kgus-alumni.org/> E-mail: information@kgus-alumni.org
関西学院大学理工学部同窓会事務局 〒555-0021 大阪市西淀川区歌島1-4-4 寿印刷(株)内
理工学部住所：〒669-1337 兵庫県三田市学園2-1 関西学院大学神戸三田キャンパス(KSC)